

# 平成19年度宮古群島病害虫発生予報第6号(9月予報)

## 9月の気象予報

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

	気 温	降 水 量	日照時間
高い(多い)	30	30	40
平 年 並	50	30	30
低い(少ない)	20	40	30

(平成19年8月24日付沖縄気象台発表・沖縄地方1か月予報)

## 地点別の平年値

要 素	平均気温( )	最高気温( )	最低気温( )	降水量(mm)	日照時間(h)
宮古群島(宮古島)	27.1	29.9	24.9	203.9	193.0

(沖縄気象台発表・統計期間1971～2000・資料年数30年)

## 9月の発生予報および防除上の注意事項

向こう1か月に農作物の主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

### 宮古群島

#### 1 さとうきび

##### イナゴ類の防除対策

- 8月上・下旬における見取り調査の結果、平良狩俣・島尻地域においてイナゴ類の発生が多く見られた。
- 両地域ではヒゲマダライナゴ、タイワンツチイナゴ、ツチイナゴが見られ、さとうきびの葉を多く食害していた。
- 薬剤散布の際は、近隣作物へのドリフト(飛散)に注意すること。

#### 2 マンゴー

##### 栄養生長期におけるチャノキイロアザミウマの防除対策

- 8月下旬の調査の結果、一部の施設でチャノキイロアザミウマが多発していた。
- この時期の不要な新梢は、本種の発生源となるため、ビニール袋に入れるなどして、施設外に持ち出し処分する。
- 本種は雨に弱いことから、灌水を兼ねて動噴で洗い流すと密度低減につながる。
- 1回の薬剤散布で効果が出にくい場合は、1週間程度の間隔で数回行う。
- 薬剤抵抗性が発達しやすいことから、同系統薬剤の連用を避ける。